

横浜ゴムは「社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になる」というCSR経営ビジョンを掲げ、環境と社会貢献の両面から様々な活動を展開しています。

#### 環境貢献商品だけしか作れない自主基準を構築

4つの環境機能(地球温暖化防止/資源再生/循環・省資源/安全・快適性)を定義し、従来品と比べて4機能の平均が5%以上上回り、かつ全機能で劣化のない商品だけ新商品化できる自主基準を構築しています。2017年12月までに、販売している全商品を環境貢献商品にする目標を掲げており、2011年3月時点で84%となっています。

#### 生産拠点に自然エネルギーシステムを導入

地球温暖化防止に向けて、温室効果ガス排出量を「2020年度までに基準年比\*25%削減」を挑戦目標に掲げています。これを実現するため、高効率設備の導入や徹底した省エネ活動に加え、生産拠点での自然エネルギーシステム導入を進めています。すでに平塚製造所、三島、新城南工場に導入済みで、2011年2月には海外で初めて中国の杭州横浜輪胎有限公司に太陽光発電システムを設置しました。

\*基準年は1990年。HFC、PFC、SF6は1995年

#### 自然エネルギーや介護・福祉分野向け商品を開発

太陽光発電向けに発電パネルと外枠を封止するエッジシール材「M-155」「M-155P」と集電ボックス用接着剤「FLASH ONE(写真下)」を、風力発電向け



に駆動システムで使われる油圧ホース「レベックス」シリーズを展開しています。介護・福祉分野では世界で初めて底付き検知センサーを内蔵した車椅子用エアセルクッション「Medi-Air1」を発売しました。

#### 国内外で18万本を植樹

2007年から国内外の生産拠点に杜を創生する「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトを展開し、2011年3月までに目標50万本のうち18万3,000本を植えました。また、社会全体における環境保護意識の向上をめざし、従業員がどんぐりから育てた自前の苗木を行政の植樹行事や公共施設、環境NPO団体、他企業などに提供しています。世界的な植樹キャンペーン「グリーンウェイブ」にも2010年から参加しています。



杭州横浜輪胎有限公司の屋上に設置した太陽光パネル



2010年11月、ヨコハマタイヤ・コーポレーションで行われた種まきに地元小学生が集まった

#### 海外生産拠点で完全ゼロエミッションを加速化

海外15生産拠点で直接埋立て処分される廃棄物の量をゼロにする完全ゼロエミッションを進め、2010年11月までにフィリピン、中国、タイの5拠点で達成しました。国内は2006年3月以降、全生産拠点で完全ゼロエミッションを継続。また、さらに高度な産業

廃棄物の100%再資源化<sup>\*</sup>を2010年3月までに達成し、現在も継続しています。

※事業活動に伴い発生する不要物の最終処分量(=直接埋立処分量+有効利用を伴わない焼却処分量)をゼロにすること。

### 生物多様性保全を本格展開

事業活動が事業所(国内15カ所、海外15カ所)周辺の生物多様性に対する影響の有無を確認するため予備調査を開始しました。影響を及ぼす可能性がある事業所

では、生物多様性への影響を調査し、課題を明確化した上で、必要な取り組みを進めていきます。例えば、三重工場では2011年4月から周辺地域の宮川中流域、下流流域、桧尻川流域の現状調査を開始、2011年12月までに合計3回の調査を予定しています。また、国内外の生産拠点に約50万本の苗木を植える「YOKOHAMA千年の杜」が生物多様性保全にも貢献する活動とするため野鳥の生息調査などを実施しています。

## 横浜ゴムグループは世界中で地域とのつながりを深めています。



◀ 学校や寺院、養護施設への寄付に加え、小学生向けに自然保護の野外教室を開催

2011年5月

ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング(タイ)



◀ がん基金への寄付や病気の子供を持つ家族を支援する慈善団体にクリスマス・プレゼントを寄贈

2010年12月

YHアメリカ



▲ 地域の方々と環境意識を共有する啓発イベントを開催(写真は子供たちに電気自動車の環境面におけるメリットを説明する従業員)

2010年11月

平塚製造所



▲ 州の環境優良プログラムで最高ランク(E4)を取得(写真の右端は認定式に出席した鈴木忠セーラム工場長(当時))

2010年12月

ヨコハマタイヤ・コーポレーション

▶ 地元の高校への奨学金支援やチャリティー・サッカー・イベントに参加

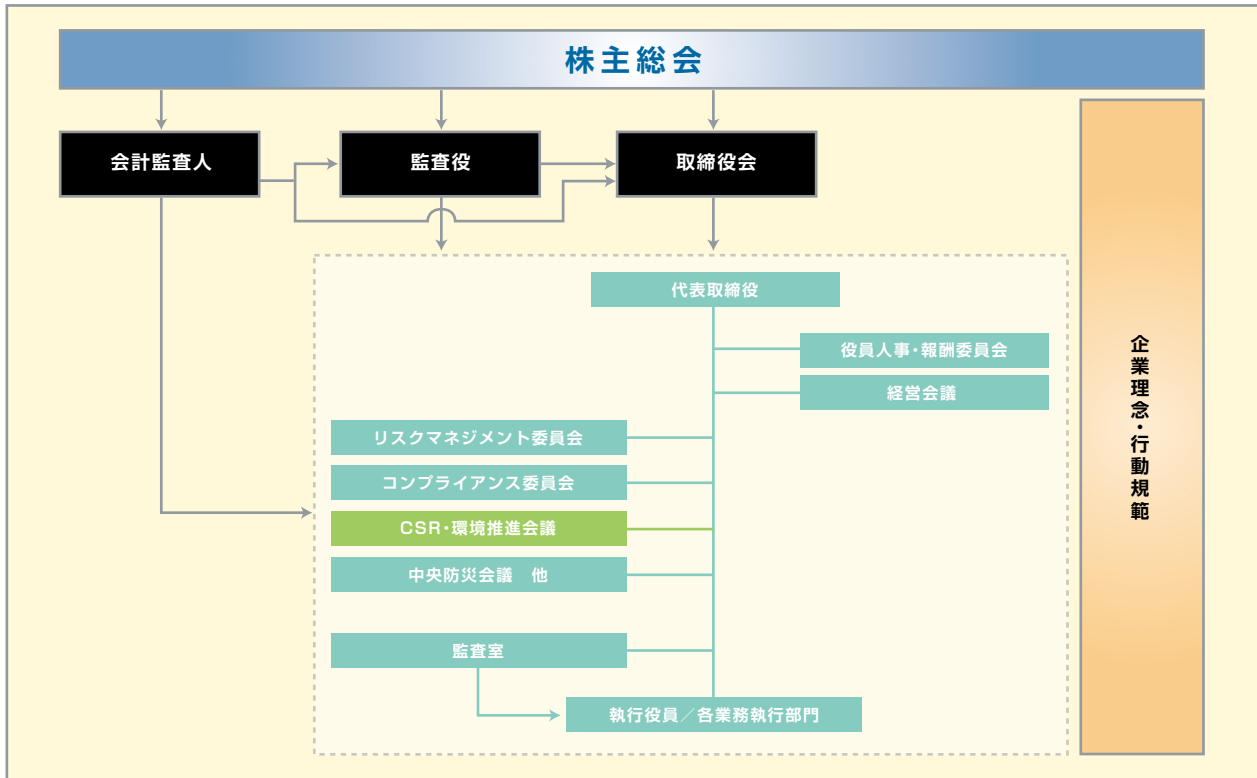
2010年11月

ヨコハマタイヤ・ベトナム



横浜ゴムグループは「心と技術をこめたモノづくりにより、幸せと豊かさに貢献します」という企業理念の下に、健全で透明性と公平性のある経営を実現するため、コーポレート・ガバナンス体制の強化に努めています。企業価値の継続的な向上が図れる経営体質を作り、すべてのステークホルダーから「ゆるぎない信頼」を得られる経営をめざします。

コーポレートガバナンス体制



現状の企業統治体

横浜ゴムでは経営の意思決定のスピードアップを図るため執行役員制度を採用し、経営の最高意思決定を行なう取締役会の機能と、業務執行を担う執行役員の機能を分離しています。現在の経営体制は代表権のある会長と社長を含む取締役8名(執行役員兼務者含む)と執行役員14名です。

経営に関する基本方針や経営執行に関する重要事項については、取締役を主要メンバーとする経営会議で審議・決定します。この経営会議に諮られた重要事項に関しては、その案件の概要を含め取締

役に報告され、また、最重要案件(取締役会規則に規定されたもの)については取締役会においても審議されます。

また役員の人事、処遇については透明性と公平性を確保するため、役員人事・報酬委員会で審議のうえ、取締役会にて決定する体制を採用しています。

監査体制

横浜ゴムは監査役会設置会社です。経営の監査機能強化の観点から監査役5名のうち3名を社外監査役とし、独立して公正な監査を行える体制を

取っています。監査役は経営会議など重要な会議や委員会に出席し、業務執行状況を知ることができます。

監査体制については、監査役が取締役の職務執行の適法性、妥当性を監査し、外部の会計監査人が会計監査を行い、監査部が各執行部門とグループ会社の業務監査と会計監査を行う三様監査体制を確立しています。互いに独立性を保って活動するとともに、監査役は会計監査人と監査部から適宜、情報を得て監査役機能の強化を図っています。

さらに監査の実効性を高め、かつ監査業務を円滑に遂行できるよう、監査役を補助する要員を監査役付けとして配置しています。

### リスクマネジメント体制

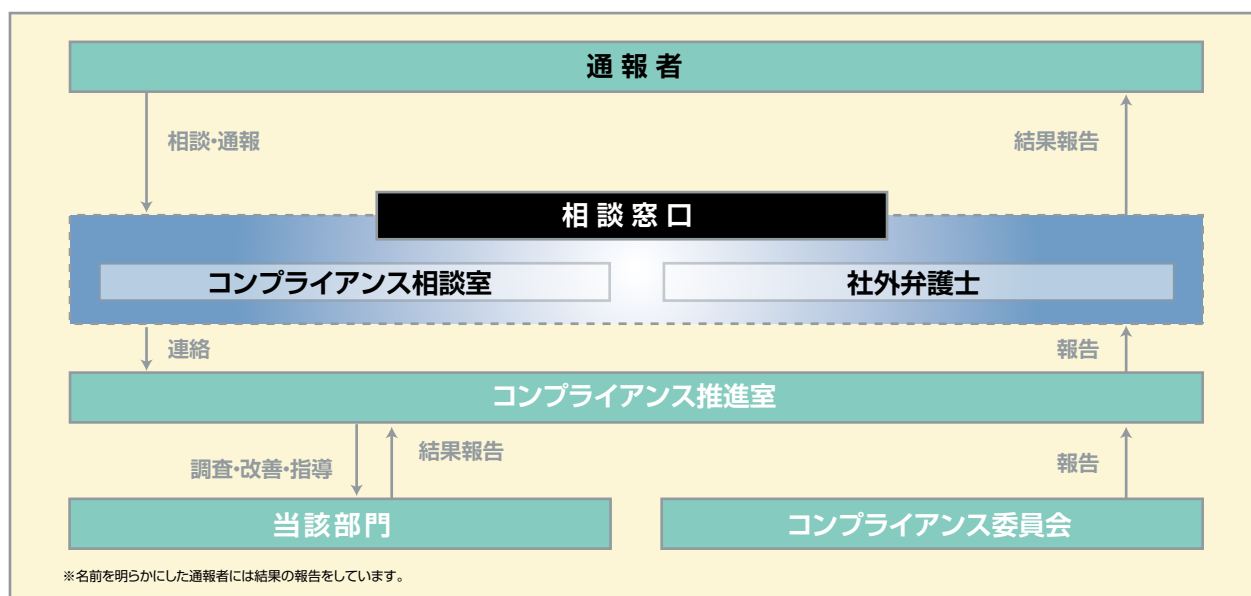
さまざまなリスクに対する防衛体制を強固なものとするべく、CSR本部長を議長とするリスクマネジメント委員会を設置し、経営に重大な影響を及ぼすリスクを横断的に管理し、対応しています。コンプライアンス、災害、情報セキュリティ、輸出管理などにかかわるリスクに関しては、それぞれ

コンプライアンス委員会、中央防災会議、情報セキュリティ委員会、個人情報委員会、輸出管理委員会などを設置し、損失とリスクの管理に加え、規則・ガイドライン・マニュアルの作成・研修などを実施しています。また、それぞれの管理状況は適時、取締役や経営会議で経営陣に報告され、同時に監査役へ報告されます。

### コンプライアンス体制

社内の全部門と国内グループ会社には、行動基準の浸透を推進するコンプライアンス推進者を配置しています。コンプライアンス推進者は、職場内の教育啓発活動の進捗などをコンプライアンス委員会に報告。コンプライアンス委員会では発生したコンプライアンスリスクの分析や今後注意すべきリスクの確認を行い、必要な予防対策を推進しています。また、法令や行動基準に違反する行為などを早期に発見して是正することを目的に、社内外に相談窓口を設けています。

### 内部通報制度(コンプライアンス・ホットライン)



## 取締役、監査役、執行役員

(2011年6月29日現在)

### 取締役

#### 南雲 忠信

代表取締役会長兼CEO

#### 野地 彦旬

代表取締役社長  
タイヤ管掌

#### 辛島 紀男

取締役副社長

社長補佐兼横浜橡胶(中国)有限公司董事長・総経理兼  
上海優科豪馬ゴム制品商貿有限公司董事長

#### 小林 達

取締役副社長

MB管掌兼電材事業部長

#### 川上 欽也

取締役常務執行役員

グローバル人事部担当兼CSR本部長

#### 後藤 祐次

取締役常務執行役員

タイヤグローバル企画本部長

#### 大石 貴夫

取締役常務執行役員

工業品事業本部長

#### 森田 史夫

取締役執行役員

経理部・監査部担当兼経理部長兼グローバル調達  
本部担当兼ヨコハマゴムファイナンス取締役社長

### 監査役

#### 福井 隆

常任監査役

#### 藤原 英雄

常勤監査役

#### 古河 直純

社外監査役

#### 佐藤 美樹

社外監査役

#### 梶谷 剛

社外監査役

### 執行役員

#### 田中 孝一

専務執行役員

タイヤ管掌補佐兼ヨコハマタイヤジャパン取締役社長

#### 鈴木 伸一

常務執行役員

タイヤグローバル生産本部長兼ロシア工場  
臨時建設本部長兼タイヤ生産HR室長

#### 日座 操

常務執行役員

航空部品事業部長兼研究本部長

#### 高岡 洋彦

常務執行役員

スポーツ事業部担当兼企画部・秘書室・GD100  
推進室担当兼アクティ取締役社長

#### 小松 滋夫

執行役員

タイヤグローバル製品企画本部長兼タイヤ  
グローバルマーケティング室長

#### 田中 靖

執行役員

ヨコハマタイヤコーポレーション取締役社長兼  
ヨコハマコーポレーションオブアメリカ取締役社長  
兼ヨコハマコーポレーションオブノースアメリカ取締役社長

#### 西田 敏行

執行役員

工業品事業本部長代理兼工業品技術本部長兼平塚製造所長

#### 伏見 隆晴

執行役員

タイヤ海外営業本部長

#### 鈴木 忠

執行役員

情報システム部担当兼タイヤグローバル物流本部長

#### 桂川 秀人

執行役員

タイヤグローバル直需営業本部長兼  
ヨコハマコンチネンタルタイヤ取締役社長

#### 狭間 浩久

執行役員

タイヤグローバル技術本部長兼タイヤ研究開発部長

#### 久世 哲也

執行役員

ヨコハマタイヤフィリピン取締役社長

#### 菊地 也寸志

執行役員

グローバル調達本部長

#### 中澤 和也

執行役員

工業品販売本部長兼工業品販売企画部長